

哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 一 冊

第 三 百 八 十 二 號

昭 和 二 十 四 年 五 月 十 日 發 行

カントに於ける倫理と
宗教の關係に就て(完)……………文學博士 島 芳 夫

危機神學の生成とその展開……………文學士 樋 元 和 一
——近世前期フランス精神史論——

宗教改革期ドイツの大學……………文學士 森 昭
——「大學の理念」の史的展開(四)——

京 都 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ設ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名) 京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四百二十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	有賀鐵太郎
文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	園原太郎
文學士	高田三郎
文學士	武内義範
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松眞一
文學士	松尾義海
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

次 目 號 前

カントの理性・道徳・宗教(完)	……文學士 大島 康 正
認識の條件……文學士 松本 彦 良	——Tensionの形而上學への提議——
型アウグスティヌスに於ける同心の問題(兼前)	……文學士 山 田 晶
——秩序の問題——	

哲學公開講座

五月七日 ギリシア哲學の二潮流

十四日 二重眞理

廿一日 啓蒙時代の哲學

廿八日 歴史と實存

六月四日 ホモ・ゲイ・アトル

座談會

毎土曜日午後一時半より五時まで京都大學文學部第八教室にて

聽講料 百五十圓

京都大學文學部圖書室受付

田中 美知太郎

高田 三郎

野田 又次

大島 康正

山内 得立

司會 三村 勉

京都大學文學部學術普及會

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編集事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編集ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學
文學部内 京都哲學會

社 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵送共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券四圓御送付下され度候

昭和二十四年 五月 五日印刷納本
昭和二十四年 五月 十日發行

編集人 京都大學文學部内

右代表者

小 田 武

發行人 久保井理津男

印刷人 鈴 鹿 幸 保

印刷所 弘文堂印刷部

發行所 株式會社 弘文堂

東京都千代田神田駿河區四ノ四

價	定	冊	數	定	價	郵	稅
一册	册	三十五圓	金三	圓			
六册(前金)	册	二百十圓	金十八圓				
十册(前金)	册	四百二十圓	金三十六圓				

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

大正五年四月六日
第三種郵便物認可

昭和二十四年五月五日印刷
昭和二十四年五月十日發行
（每月一回）
（一日發行）

哲 學 研 究 第 三 百 八 十 二 號

定 價 三 十 五 圓

（郵 代 金 三 圓）